

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和5年2月28日

事業所名 下関市こども発達センター はたぶ園 保護者等数(児童数) 38名 回収数 32名 割合 84.2%

|             | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない | ご意見  | ご意見を踏まえた<br>対応   |
|-------------|---|----|---------------|-----|-------|--|--|
| 環境・<br>体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか  | 29 | 3             | 0   | 0     | ・クラス、運動スペース等適度なスペースだと思います。                 | 施設基準は満たしているものの、十分な余裕はありませんので、限られたスペースを、活動内容やお子様の様子により、2グループに分かれて活動したり、少人数での療育を行うなどの配慮をしています。 |
|             | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか   | 31 | 0             | 1   | 0     | ・専門性について職員によって差が明らかにあると感じる。<br>・適切な人数だと思う。 | 少数意見ではありますが、今回のご意見を重く受け止め、職員それぞれの専門性をしっかりと把握し、外部や内部研修などを通じて職員の資質向上に努めてまいります。                 |
|             | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 31 | 0             | 0   | 1     | ・パニックになってもすぐ近くに落ち着けるスペースも確保されているので有難い。     | ご意見ありがとうございます。これからも努力して参ります。   |
|             | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか                                | 31 | 1             | 0   | 0     | ・毎日心地よく過ごせていると思う。                          | ご意見ありがとうございます。引き続き、お子様が快適に園生活を送ることが出来る様に配慮して参ります。  |

|          |   | チェック項目   | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない | ご意見   | ご意見を踏まえた<br>対応  |
|----------|---|--|----|---------------|-----|-------|---|---|
| 適切な支援の提供 | 5 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか  | 32 | 0             | 0   | 0     | ・定期的に個別支援計画をその都度確認している。   |   |
|          | 6 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 30 | 1             | 0   | 1     | ・あまりそう思わない。   | ご意見ありがとうございます。職員間で支援計画についての会議を実施し、見直しや共通理解を行って作成しております。具体的な支援内容についてもしっかりと説明が出来るように再度取り組んでまいります。                               |
|          | 7 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか   | 31 | 1             | 0   | 0     | ・支援してもらっていると思う。   |   |
|          | 8 | <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか   | 27 | 1             | 0   | 4     | ・1ヶ月の活動内容も様々用意して頂いていると思う。   | 職員間で療育内容についての共通理解を図り、見直しも行ってまいります。外部研修等に参加し学んだ事を活かしたり、また他の支援センターの取り組みを参考にするなどして、できるだけ固定化しないように工夫していきたいと思えます。                  |
|          | 9 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか  | 4  | 4             | 14  | 10    | ・コロナ等で中々難しいとは思いますが、いつか障がいのない子どもと活動できて刺激を受けつつ、障がいの事も知ってもらいたい。<br>・コロナ禍で仕方ないと思う。<br>・兄弟児との活動する機会以外にもコロナ以前はあったのかを知らない。<br>・他クラスのお友だちと交流してもらい有難い。 | ここ数年は、コロナ禍も重なり、交流がなかなか出来ていない状況です。しかし、地域のお子様との交流は、園児さんにとっても、とても良い刺激になると考えております。過去の取り組みなどを参考に、コロナ禍の終息後に適切な機会を確保できるように努めたいと思えます。 |

|  | チェック項目   | はい | どちらとも<br>いいない | いいえ | わからない                 | ご意見   | ご意見を踏まえた<br>対応  |
|--|--|----|---------------|-----|-----------------------|---|---|
| 保護者への説明等   | 10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか  | 31 | 1             | 0   | 0                     | ・入園時、年度初めに規約をもらっている。  |   |
|  | 11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか | 28 | 3             | 0   | 1                     |   |   |
|  | 12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか   | 25 | 3             | 3   | 1                     |   | 保護者を対象とした研修会を定期的実施し、家庭支援の他、発達や制度などについての情報提供も行っております。  |
|  | 13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか                                | 29 | 3             | 0   | 0                     | ・連絡ノートの排泄欄が明らかに不在の時間帯(訓練など)であるにも関わらず印がついていることが何度もある。ただ形式的なものであるなら無い方が良い。<br>・連絡帳が小さすぎて色々書けないし、書いてもらえない。<br>・日々の連絡ノートに様子を書いてもらい毎日の楽しみになっている。<br>・相談を聞いてもらいとても助かっている。<br>・連絡帳や毎日の送り迎えで話しが出来る。 | ご意見ありがとうございます。頂いたご意見を真摯に受けとめて、確実な情報をきちんとお伝え出来る様に努めて参ります。連絡ノートの記入は、日々の療育の時間内で行っております。お子様を見守りながらの記入になりますので、どうしても内容が十分でないことがあるかもしれません。その際には、お電話や直接お会いした際に詳細をお伝えさせていただいております。 |
|  | 14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか  | 29 | 3             | 0   | 0                     | ・いつも相談にのってもらい助けてもらっている。<br>・もっと回数を増やしてほしい。  |   |
|  | 15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか   | 20 | 7             | 2   | 3                     | ・保護者間のラインでお知らせなどをしてられている。また、支援学級に通っておられる方々の資料など配布してもらい有難い。コロナ禍は今の感じで良いと思う。  | コロナ感染状況により、行事や集まりの一部を中止せざるを得ない事も多くありましたが、規模を縮小したり、人数を制限したりするなどして実施させて頂きました。保護者同士の連携が取りづらい状況であることは承知しております。今後も皆様の健康と安全を最優先に考慮し、できる限りの取り組みを実施してまいりたいと思っております。               |
| 16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 28   | 3  | 0             | 1   | ・その都度話しが出来る機会をもらっている。 | ご意見ありがとうございます。引き続き皆様からの相談や申し入れに迅速かつ適切に対応出来るように努めてまいります。   |   |

|         |    | チェック項目   | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない | ご意見  | ご意見を踏まえた<br>対応  |
|---------|----|--|----|---------------|-----|-------|--|---|
|         | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか  | 27 | 4             | 0   | 1     | ・子どもの特性を理解して子どもに合った方法を選んで支援してもらっている。<br>・連絡帳が小さすぎて書けない。                            | 連絡帳の備考欄はスペースもしっかりと確保されているので、伝えたい事など使用して頂いて大丈夫です。また、連絡帳に関しては時間の制約もありお伝えする内容が十分でないことがあるかもしれません。その際はお電話や面談等で対応させて頂いております。お子様の成長の兆しを共に感じ取り、共有させて頂ける事を職員一同非常に嬉しく思っております。 |
|         | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか     | 22 | 3             | 0   | 5     |  |   |
|         | 19 | 個人情報の取り扱いに十分注意されているか   | 28 | 0             | 1   | 1     | ・別のお子さんの書類がリュックに入っていたことがある。  | ご意見ありがとうございます。頂いたご意見を大変重く受け止めております。職員に個人情報の取扱いについて再度指導してまいります。  |
| 非常時等の対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。 | 17 | 7             | 0   | 6     | ・入園時、年度始めに必ず説明をもらって規約ももらっている。  | 来場者の確認については、事務室からの目視・声かけを基本とさせて頂いております。来場者受付簿などについては設置を検討してまいりたいと存じます。  |
|         | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか                                    | 25 | 1             | 0   | 4     | ・行われていると思う。  | 火災、地震、土砂災害などを想定した訓練を毎月実施しております。今後も引き続き、色々な災害等を想定した訓練を行って、お子様の安全をしっかりと確保してまいります。   |
| 満足度     | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか   | 29 | 1             | 0   | 0     | ・とても楽しみにしている。<br>・休みが続いた日は本当に残念がっていた。  | ご意見ありがとうございます。これを励みにこれからも努力して参ります。  |
|         | 23 | 事業所の支援に満足しているか   | 28 | 2             | 0   | 0     | ・物足りなさはある。<br>・先生方いつも本当に感謝している。<br>・とても満足している。はたぶ園に通園出来て良かった。<br>・この一年でとても成長したと思う。 | ご意見ありがとうございます。職員間の情報共有や連携を密にして、統一した支援を行うことで、日々の療育に反映できるよう努力します。   |

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。